

# 枚方市における 在宅医療・介護連携の 推進の取組みについて

令和6年3月22日

# 枚方市の取り組み～地域包括ケアシステムの構築～

「地域包括ケアシステム」は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制です。

ひらかた高齢者保健福祉計画21（第8期）第6章

## 第8期（令和3年度～5年度）「これまでの地域包括ケアシステムの深化・推進」

- ・ **保健・医療・介護・福祉の連携強化**
- ・ **認知症支援策の推進**
  - ・ 介護予防・生活支援サービスの基盤整備の推進
  - ・ 介護予防と健康づくりの取組みの推進
  - ・ 地域支え合い体制の整備
  - ・ 高齢者の多様なニーズに対応する生活支援サービスの提供

# 在宅医療・介護連携推進事業

## (事業の経過)

在宅医療と介護の連携推進については、これまでの医政局施策である在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療連携推進事業（平成25年度～）の成果を踏まえ、介護保険制度改革において、介護保険法の中で恒久的な制度として位置づけられた。実施可能な市区町村は平成27年から取り組みを開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施することとなった。

国が示す「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の（ア）から（ク）8つの事業全ての事業を実施する。

**枚方市では、平成30年度から枚方市医師会に事業を委託し、市と協働で実施している。**

なお、平成20年度より医療と介護関係団体による課題検討の場として「実務者推進連絡協議会」を開催しており、平成27年度より市全域の地域ケア会議に位置付けて実施している。

# 取組み内容及び実施状況について

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

内容等	時期等	備考
医療介護資源集作成・配布 (関係機関向け)	令和6年3月	1500部 配布先：市民、三師会、訪問看護ステーション連絡会等 関係機関、地域包括支援センター、市担当課

## (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(1) 医師会との打ち合わせ会議 本事業の企画・実施等に関する検討協議、情報共有等	月1回程度開催 (計12回)	メンバー：枚方市医師会、在宅医療連携・在宅支援コーディネーター、保健所、健康福祉政策課、 長寿・介護保険課、健康づくり・介護予防課、 健康福祉総合相談課
(2) コーディネーターの在宅医療・介護連携推進に関する会議等への参画	令和5年4月～令和6年3月	概ね21回（令和5年12月末時点） 多職種連携研究会、訪問看護ステーション連絡会等

# 取組み内容及び実施状況について

## (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- (1) 在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置
- (2) 周知用チラシの作成配布、市ホームページ・医療・介護資源集に掲載

1) 令和5年4月～令和6年3月 週3回  
(月・水・金曜日)  
13時～17時

- 1) 相談件数 7 件 (令和5年12月末時点)
- 2) 配布先：三師会、市内介護保険事業所、地域包括支援センター、市担当課

令和4年度 枚方市在宅医療・介護連携推進事業

**在宅療養支援のお困りごと、  
電話でお気軽にご相談ください！**

医療・介護専門職向け

### 在宅医療 電話相談窓口

- ✓ 訪問診療や往診している医院を教えてください
- ✓ 医療系サービスと他の制度との調整方法
- ✓ 一人暮らしの方の在宅着取りを支援しているが…
- ✓ 医師との連携について
- ✓ 軽度の認知症が疑われる方の受診や支援について

このようなお悩みありませんか？  
地域の訪問看護師が対応します！

**開設日時：月・水・金曜日  
午後1時～5時**

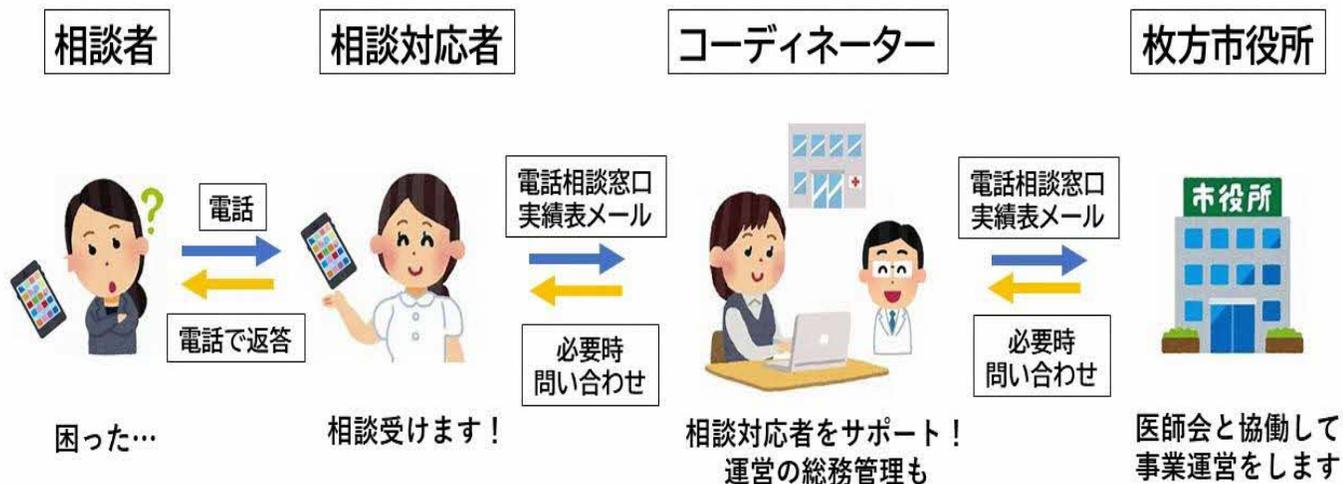
なお、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)はお休みです。

**電話番号：080-8523-2882**

【事業に関するお問合せ】  
一般社団法人 枚方市医師会  
電話 072-848-1600  
枚方市 健康福祉総合相談課  
電話 072-841-1401



- 身近な圏域内で連携強化・継続を目的に、市内訪問看護ステーション管理者が相談対応
- 医師会コーディネーター・バックアップ医師のフォロー体制を構築



# 取組み内容及び実施状況について

## (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

認知症が心配になっても、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を目指して

地域包括支援センターと医療機関等との相互理解を促進し、連携を深めることで、市民が相談しやすい体制づくりを目指す。

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### 認知症支援体制構築【重点施策】

関係機関向け研修（株）エーザイ共催  
第1部「認知症支援体制構築」  
地域包括支援センター職員  
第2部「認知症診療のパラダイムシフトを迎えて」  
関西医科大学神経内科学講座  
薬師寺教授  
35名出席

時期等

令和6年  
3月2日  
(土)  
枚方市  
医師会館

備考

■認知症の事例を中心に、地域包括支援センターの役割について理解を深め、医師会（認知症サポート医・かかりつけ医）と地域包括支援センターの連携を強化する  
■認知症の最新治療について理解する



薬師寺先生

# 取組み内容及び実施状況について

## (キ) 地域住民への啓発

### 認知症早期発見・早期治療に向けた啓発【重点施策】

#### ① 認知症月間イベント

テーマ：もっと知ろう もっと語ろう  
認知症

- 1) 市役所別館出入口啓発コーナー設置
- 2) 広報ひらかた9月号掲載
- 3) 枚方市公式ライン・Twitter・フェイスブック配信
- 4) 庁内館内放送にてアナウンス
- 5) 平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）オレンジライトアップ（雨天のため中止）

時期等

令和5年9月



# 令和6年度にむけて【重点施策】認知症の普及啓発と連携体制構築

## 課題

認知症初期に、医療機関や相談窓口等につながっていないことが多く、市民への正しい知識の普及啓発が必要。また、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を構築する必要がある。

医療と介護サービスについて理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

### ■認知症に関する普及・啓発

認知症講演会開催、9月認知症月間等イベント開催等による周知啓発

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携し、支援体制を構築できる

### ■認知症連携体制に関する課題の抽出

多職種連携研究会等で関係機関より現状を聞き取り、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

### ■認知症に関する知識・支援技術習得による対応力向上

関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

# 取組み内容及び実施状況について

(キ) 地域住民への啓発

## ACP（アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発【重点施策】

①エンディングノート・人生会議まるわかりガイド周知啓発

②在宅医療・介護連携推進事業市民向け講演会

言うとかんとわからへん！安心して生ききるための「人生会議」

第1部：創作落語「天国からの手紙」ほか

講師：生島 清身氏(行政書士・社会人落語家)

第2部：何でせなあかんの？「人生会議」

講師：神山 欣子氏

(社会福祉法人聖徳園人材開発室、枚方市在宅医療・介護連携支援コーディネーター)

130名参加

時期等

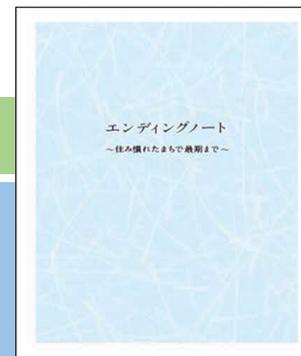
①  
令和5年4月～

②  
令和5年11月30日  
枚方市  
医師会館

備考

①エンディングノート印刷予定・人生会議まるわかりガイド（3,000部）  
長寿・介護保険課、地域包括支援センター等で配布

②市民へのACP周知啓発を目的に実施



講演会周知  
ちらし

# 取組み内容及び実施状況について

## (キ) 地域住民への啓発

### ACP普及啓発【重点施策】

#### ③ 人生会議の日11月30日イベント

1) 市民向け啓発動画「医師がやさしく解説します！エンディングノートに出てくる医療用語」

解説；枚方市医師会 山田誠医師

2) 市役所別館出入口 啓発コーナー設置

3) 各支所や関係部署等にてポスター掲示およびチラシの設置

4) 市内医療機関院内ポスター掲示

天の川病院・関西医科大学附属病院・関西医科大学くずは病院・関西記念病院・香里ヶ丘有恵会病院・坂野病院・佐藤病院・市立ひらかた病院・新生病院・高井病院・津田病院・中村病院・東香里病院・福田総合病院・星ヶ丘医療センター・松谷病院・向山病院・吉田病院

5) 市役所本館1階・別館2階および市内各施設に設置のデジタルサイネージにて人生会議画像放映

時期等

備考

③

1) 令和6年2月

2) ~4) 令和5年11月

5) 通年



市役所別館入り口啓発コーナー

# 取組み内容及び実施状況について

## (カ) 医療・介護関係者の研修

### ACP普及啓発【重点施策】

医療・介護専門職向け研修  
「ACP支援のための研修～  
人生の最終段階に、支援者が  
求められていること～」

筑波大学附属病院 緩和支援治療科  
木澤 義之教授

81名参加



木澤先生

時期等

令和5  
年10月  
25日  
枚方市  
医師会館

備考

■医療・介護の専門職がACP支援実践  
のために、大切なポイントを理解できる



医療・介護専門職向け研修の様子

# 令和6年度にむけて【重点施策】意思決定支援の取り組み

## 課題

市民が、自らの望む暮らしや人生の最期等について考えたり、周囲と話し合ったり、医療・介護を選択したりできるような環境や支援体制が整っていない

医療・介護等への理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

### ①ACPに関する普及・啓発

媒体（エンディングノート、動画等）を活用・啓発、市民向け講演会の開催

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携を図り、ACPに関する支援を提供できる

### ①ACPに関する知識・支援技術の習得・向上

媒体を活用・啓発、関係機関向け研修会の開催、在宅医療・介護連携電話相談窓口、医療・介護資源集等の周知・活用促進

### ②ACPに関する課題の抽出

在宅医療・介護連携電話相談窓口や多職種連携研究会、地域ケア推進実務者連絡協議会等を通じて、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

新たに作成したACP啓発媒体の活用の過程で出た課題を集約し、媒体の修正や課題の解決に向けた取組等を検討する

**関係機関と協働で取り組みを進めていく必要性がある！**

# 「8つの事業項目」から「PDCAサイクルに沿った取組」への見直しイメージ

## ①地域の医療介護連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案

### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討

## ②地域の関係者との関係構築・人材育成

### (カ) 医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催 等

## ③(ア)(イ)に基づいた取組の実施

### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援

### (キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象としたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

### (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

事業全体の目的を明確化しつつPDCAサイクルに沿った取組を実施しやすくする  
観点、地域の実情に応じてより柔軟な運用を可能にする観点からの見直し

## 地域のめざす理想像

- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

## ①現状分析・課題抽出・施策立案

### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出

- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）

### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

## ②対応策の実施

### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
- 関係者の連携を支援する相談会の開催

### (キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
- 周知資料やHP等の作成

+

<地域の実情を踏まえた柔軟な実施が可能>

### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 在宅での看取りや入院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

### (カ) 医療・介護関係者の研修

- 多職種の協働・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
- 医療・介護に関する研修の実施

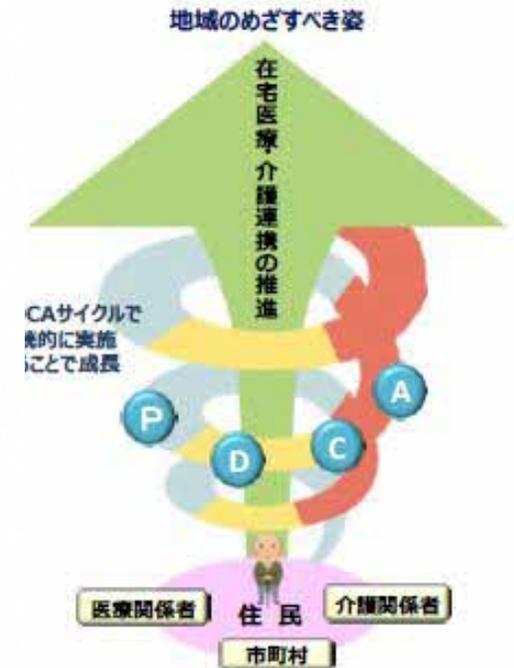
- 地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援の実施

## ③対応策の評価・改善

### 都道府県主体の役割へ変更

(都道府県は、地域医療介護総合確保基金や保険者機能強化推進交付金等の財源を活用、また、保健所等を活用し、②対応策の実施も必要に応じ支援。)

●総合事業などの地域支援事業等との連携



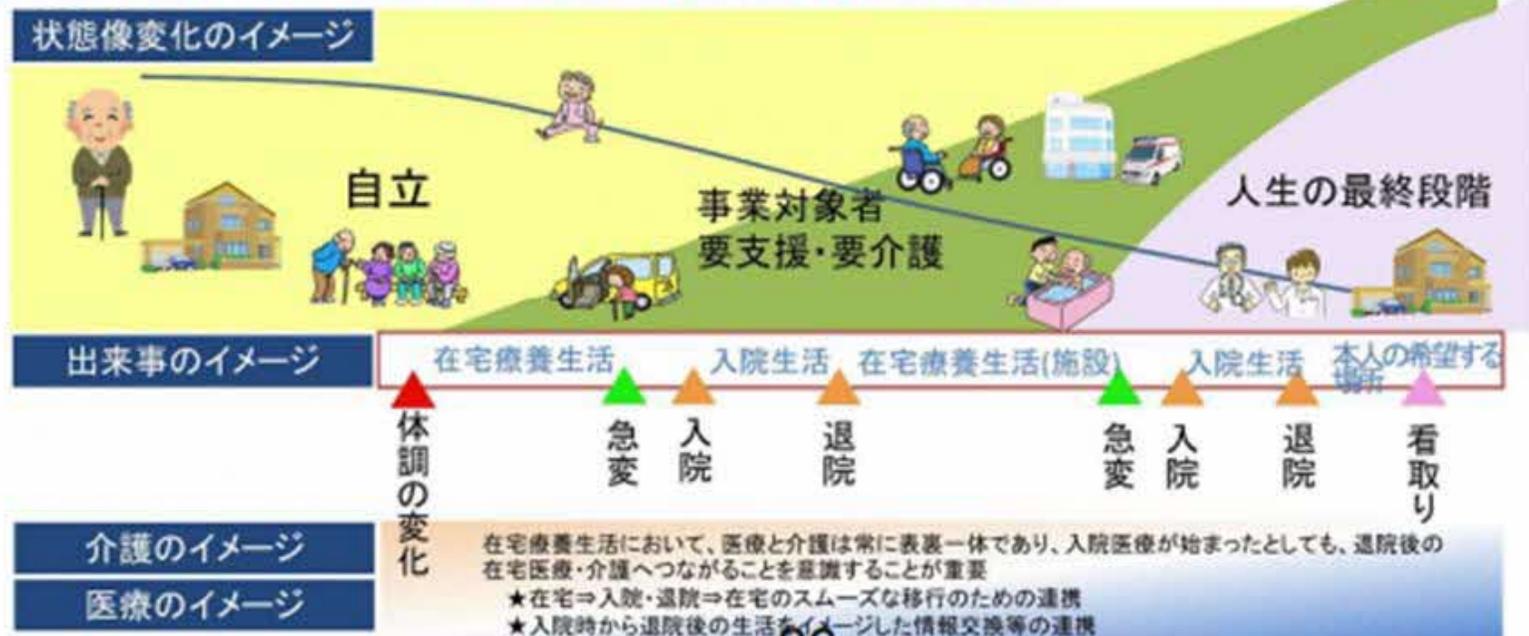
資料：

資料：在宅医療・介護連携推進事業の手引きVer.3より抜粋

## 4 「第2章 市町村における事業の進め方」の要旨

### ● 4つの場面を意識したPDCAサイクルの考え方と展開例 P23

- ライフサイクルにおいて、場面毎に必要な医療と介護のサービスの比重は変わるものの、地域において在宅療養者が医療と介護を必要とする場合には、医療と介護が連携し、高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活することができるような支援が必要である。
- 在宅療養者の生活の場で医療と介護を一体的に提供するために、在宅医療の場面を生かしつつ、さらに、入院時から退院後の生活を見据えた取組ができるよう、高齢者のライフサイクルを意識したうえで、本事業においては、医療と介護が主に共通する4つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）を意識して取り組む必要がある。なお、この4つの場面は、双方が重なり合っていることも少なくないことに留意が必要である。
- 4つの場面ごとの現状分析・課題抽出・目標設定等を行う前提として、地域のみざすべき姿を必ず設定し、その目的を実現するために、達成すべき目標を4つの場面ごとに設定することが重要である。



# 在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



# 在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

## 枚方市主催事業

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討  
 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

### 多職種連携：医療・介護専門職向け

#### 地域ケア推進実務者連絡協議会 ※令和5年度から枚方寝屋川消防組合参加

【参加団体】東香里病院（認知症疾患医療センター）、枚方ソーシャルワーク研究会  
 枚方市介護支援専門員連絡協議会、枚方市訪問看護ステーション連絡会  
 枚方市デイサービス連絡協議会、枚方市特別養護老人ホーム施設長会、枚方市訪問介護事業者会  
 枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会、枚方市グループホーム連絡協議会 関西医科大学附  
 属病院地域医療連携部、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会 市立ひらかた病院、枚  
 方市地域包括支援センター・枚方市保健所保健医療課・保健予防課 健康福祉政策課、長寿・介護保  
 険課、健康づくり・介護予防課、健康福祉総合相談課

時期等

令和6年3月22日  
枚方市医師会館

備考

### (キ) 地域住民への啓発

#### 認知症の理解促進・啓発：市民向け

##### ①テーマ：「認知症フレンドリーキッズ授業」市内小学校向け

VR疑似体験やグループワークを通して認知症を理解する  
 授業 7校

##### ②テーマ：「認知症マフ・ワークショップ」

市民向け 62名参加

時期等

①令和5年月23日  
～1月30日  
市内小学校

②令和5年10月3日  
枚方T-SITE

認知症マフ



授業の様子

# 在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

## (キ) 地域住民への啓発

### 認知症の理解促進・啓発：市民向け

#### ③「オレンジガーデニングプロジェクト」

「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創って  
いこう!」という思いを共有し、楽しみながら花を育て、  
全国各地で認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の  
花を咲かせるプロジェクト

賛同団体 11団体

#### ④「認知症すごろく」

認知症について正しい知識や理解を深めるため、認知症  
の進行に合わせた症状の事例や、活用できる社会資源、  
予防のための対策などを楽しく学ぶことができるもの  
地域包括支援センターなどで体験できる

時期等

①令和5年5月～



ガーデニングの様子

②令和5年9月



認知症すごろく

# 在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

## 事業名 地域包括支援センター保健師部会との結核予防対策に関する連携

### (カ) 医療・介護関係者の研修

#### 1.地域包括支援センター職員に対する高齢者の結核対策に関する健康教育

地域包括支援センター保健師部会に出向き、高齢者の結核の現状と肺がん検診を活用した検診受診の必要性について健康教育を実施した。  
また、各地域包括支援センターに対し、100枚/箇所啓発チラシ入り個包装マスクを渡し、市民への配布を依頼した。

時期等

令和5年4月18日  
9時30分～10時

備考

参加者等：  
地域包括支援センター保健師部会の構成員13名、健康づくり・介護予防課職員1名

#### 2.保健所と地域包括支援センター保健師部会との連携・協力について

R5.4月に実施した健康教育について、研修内容について参加者より意見・感想を聴取し、次年度以降も健康教育の継続を依頼した。  
市民への個包装マスクの配布についても、配布時期・配布効果等について意見を聴取した。

令和5年11月21日  
9時30分～10時

参加者等：  
地域包括支援センター保健師部会の構成員13名、健康づくり・介護予防課職員1名

## 事業名 高齢者を支援する関係団体との感染症予防のための連携

### (キ) 地域住民への啓発

#### 1.インフルエンザ予防啓発ポスターの配布

在宅高齢者や施設で生活する高齢者を支援する団体、および医師会・歯科医師会に対して、インフルエンザのまん延・集団発生の予防に向けて、ポスター・チラシを配布。各施設や医療機関から高齢者へのチラシの配布も依頼した。

時期等

令和5年12月～  
令和6年1月

備考

配布先・配布内容：  
①医師会にチラシ300部  
②薬剤師会にチラシ155部  
③枚方市高齢者住まい連絡協議会にポスター30部、チラシ300部、  
④枚方市介護支援専門員連絡協議会にポスター250部、  
⑤地域包括支援センターにポスター13部、チラシ650部 を配布依頼

# 在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

## 枚方市難病対策 難病ネットワーク部会

部会構成団体：（企画運営団体）枚方市医師会・関西医科大学附属病院難病センター・枚方市保健所  
 （その他構成団体）枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院  
 枚方市病院協会・枚方市訪問看護ステーション連絡協議会・枚方ソーシャルワーク研究会

### （イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討 （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1.医療ネットワークの構築・多職種連携（医療職向け）	時期等	備考
<b>実務者会議</b> 在宅難病患者・家族が安心して療養できる医療・福祉のネットワークを構築するため、構成団体における意見交換や課題解決に向けた協議を実施。	令和6年2月28日（水） 14時～15時30分	参加者：部会構成11団体 （医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケースワーカー、行政等）
2.医療ネットワークの構築：研修会（医療・介護職向け）	時期等	備考
テーマ：人工呼吸器を使用した難病患者さんの災害時支援 講師：関西国際大学 保健医療学部看護学科 今福恵子准教授 関西医科大学附属病院 大能祐文臨床工学技士 内容：支援者に必要な知識やスキル、関係機関の連携の在り方及び、個別ケースの避難訓練やシミュレーションの実際について学ぶ。	令和5年9月8日（金） 13時30分～16時30分	参加者：28名 （訪問看護師、MSW、保健所保健師等）

# 在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等について

## 医療と介護の連携強化 ネットワーク

構成団体：星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院・枚方市保健所・枚方市病院協会・枚方市医師会・枚方市  
構成団体以外：枚方市介護支援専門員連絡協議会・枚方市ソーシャルワーク研究会

(イ) 在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

## 医療と介護の連携強化ネットワーク部会

時期等

備考

コロナ禍を経て、ネットワーク部会で検討予定だった情報連携シートの必要性が減少し、部会の設置には至らず。現在、個別事案や検討課題を通して関係機関との連携を図っているため、現時点での部会設置の予定はない。

## 地域保健医療問題懇談会

※下記団体で構成され、地域保健・医療の現状や課題等の共有、地域関係団体の連携強化に取り組んでいる

構成団体：枚方市医師会・枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・【事務局】枚方市保健所 連携団体：枚方市病院協会・枚方市訪問看護ステーション連絡会等

(カ) 医療・介護関係者の研修

## 地域保健医療問題懇談会

時期等

備考

### 知っているようで知らない訪問看護の実際

講師：枚方市医師会・枚方市在宅医療介護連携推進コーディネーター **35名出席**

令和5年7月20日  
枚方市医師会館大講堂

## 健康医療都市ひらかたコンソーシアム

※下記団体で構成され、市民の健康増進や地域医療の充実に取り組んでいる

構成団体：枚方市医師会・枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・枚方市病院協会・関西医科大学・大阪歯科大学・摂南大学・関西医科大学附属病院・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・大阪精神医療センター・市立ひらかた病院・枚方市保健所・枚方市【事務局】枚方市健康福祉政策課  
連携団体：枚方市スポーツ協会・枚方寝屋川消防組合

(キ) 地域住民への啓発

## 健康医療都市ひらかたコンソーシアム主催事業 講演会

時期等

### 住み慣れた地域で安心して暮らすため 上手な医療のかかり方

第1部講演 講師：保健所・医師会・歯科医師会・薬剤師会のリレー講座

身近で相談できる「かかりつけ」の役割やメリットを紹介

第2部シンポジウム シンポジスト：保健所・医師会・歯科医師会・薬剤師会

「住み慣れた地域で安心して暮らすための地域医療を考える」をテーマに開催 **110名参加**

令和6年  
2月22日  
枚方市総合文化芸術センター 別館

